

つなぐ



令和5年12月25日（月）発行
相談支援部 No.8 （通巻No.73）

都立青山特別支援学校長 井上 一仁
相談支援部主任 中村 尚子
本号作成 蒲池 静恵

◆小学部 学校間交流を行いました



本校小学部5年生18名、6年生23名と青山小学校4年生33名で、9月と11月の2回にわたり、学校間交流を行いました。

1回目は9月27日（水）に、本校体育館に青山小学校4年生の児童が来校し、4つのグループに分かれて「自己紹介ゲーム」と「ボッチャ大会」を行いました。

「自己紹介ゲーム」では、グループごとにひとつの円になってボールを回し、音楽が止まったときにボールを持っている児童が自己紹介をしました。本校児童が「好きな食べ物はアイスです」と伝えると、青山小学校の児童から「私も好き」という声が上がり、お互いに緊張した気持ちが少しづつほぐれ、やりとりが弾みました。

「ボッチャ大会」では、両校の児童が交互にボールを投げました。両校とも力加減がなかなか難しく、見事、満点のエリアにボールが止まるとなみんで盛り上りました。得点は青山小学校の児童が得点表を付け、最後に4つのグループで得点発表を行いました。優勝チームが決まると歓声と拍手が起き、優勝チームは大喜びとなりました。交流時間もあっという間に終わってしまうほど、楽しい交流となりました。



2回目は11月30日（木）でした。今度は青山小学校の体育館で行われる「音楽会」のリハーサルに本校5年生と6年生の児童が訪問し、4年生の合唱や演奏を鑑賞しました。待っている



間は緊張している様子の児童もいましたが、演奏が始まると静かになり、合唱や演奏に聴き入る児童が多くかったです。特に「ソーラン節」の合奏では、和太鼓やリコーダーなどのテンポの良い演奏と掛け声に、身体を揺らしながら楽しんで聞くことができました。発表後、青山小学校4年生が、本校に帰る児童を見送りに玄関に来てくれました。お互いに言葉をかけ合い、最後は手を振って見送ってもらうことができ、とても嬉しそうでした。

今年度の交流はこれで終了になりますが、2回の交流を通して、学校は違っても「同じこと」も「違うこと」もあること、「好きなことや嫌いなこと」、「苦手なこと」もあることなど、お互いのことを知るきっかけになったように感じます。同じ南青山で学習する児童同士、またどこかで会った際は、お互いに挨拶したり、言葉をかけ合ったりできたら素敵なことです。

◆校内の保護者の皆様からの御相談をお受けいたします。



コーディネーターが御家庭での子育てのお悩みなど、一緒に考え、解決していくよう御相談に対応しています。担任を通じてお電話や連絡帳にて、御相談ください。